

都市再生整備計画 事後評価シート
向日市長岡宮跡周辺地区

平成30年5月

京都府向日市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	向日市	地区名	向日市長岡宮跡周辺地区			面積	約280ha		
交付期間	平成25年度～29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	565百万円	国費率	0.448				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(長岡宮周辺観光ルートカラー舗装、障がい者誘導施設、向日神社等休憩施設、エリア内公園トイレ)、既存建造物活用事業(文化資料館整備事業)								
		提案事業	地域創造支援事業(観光マップ作成事業、地域ボランティア育成)、まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会支援事業、まちづくり関連イベント)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	既存建造物活用事業(富永屋、須田家、長岡宮離宮跡)	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	なし								
		提案事業	地域創造支援事業(長岡京広報・PR事業)	向日市歴史的風致維持向上計画の認定に伴う事業の追加		事業の追加により、指標1及び指標2に影響を与えることから、数値目標の増加					
事業活用調査(歴史的建造物活用事業調査)			向日市歴史的風致維持向上計画の認定に伴う事業の追加		影響なし						
事業活用調査(歴史・文化資源の活用検討)	向日市歴史的風致維持向上計画の認定に伴う事業の追加		影響なし								
交付期間の変更	当初	平成25年度～29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	平成25年度～29年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	施設等利用者数	人	253,141 H24	290,000 H29		298,126	○		観光客等が利用できるトイレ、休憩所や、カラー舗装等の道路整備に加え、歴史を生かしたイベントの実施や積極的な広報PRを行うことで目標を達成できた。	
	指標2	歴史を生かしたまちづくりの満足度	%	22.1 H24	36.0 H29		46.6	○		地域の歴史や文化に触れることができるよう、公共施設等の整備や、歴史資源の調査を行うとともに、本市固有の歴史・文化資源を市内外に広くPRすることで市民が歴史・文化を身近に感じるにつながった。	
指標3	イベント開催回数	回	6 H24	10 H29		10	○		地域住民やまちづくり協議会が行うまちづくり活動に対し、様々な支援を行うことで、活動の活発化につながった。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1										
その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報PRを行った結果、地域住民の歴史に対する関心が深まった。 ・ワークショップ等の開催により、地域住民の参画や地元による主体的運営意識の醸成が図られた。 										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	長岡宮跡周辺整備事業における協議会活動支援ヒアリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				協議会については、地域に適した計画を策定するため、地域住民及び団体との連携の強化に取り組む。 活動支援ヒアリングについては、今後も地域住民及び団体と連携し、活動支援内容の精査に取り組む。			
	持続的なまちづくり体制の構築	ボランティア育成事業 まちづくり協議会支援事業		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				当該組織が主となり、多種多様な活動を展開できるよう、今後も活動支援を行う。			

